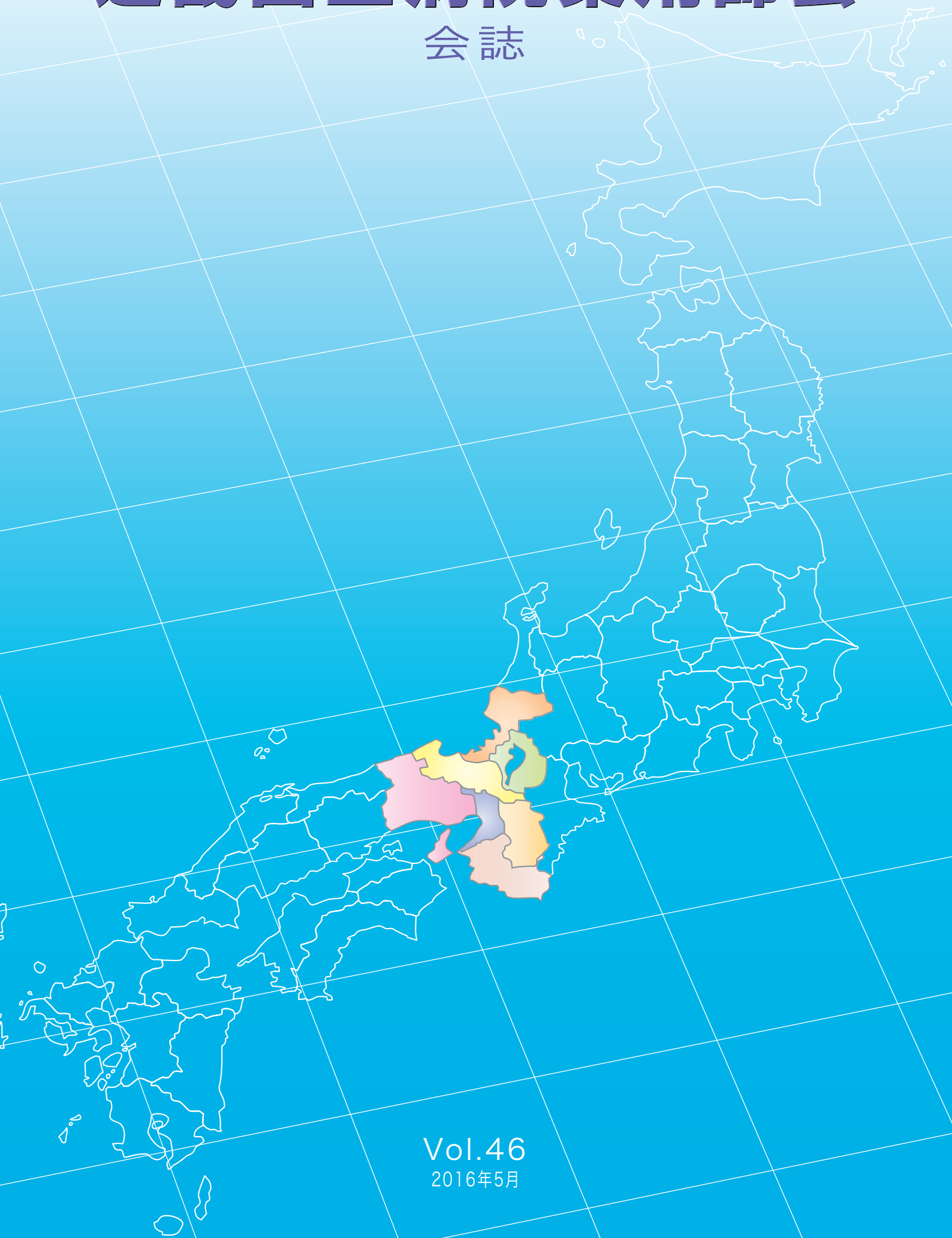


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.46
2016年5月

目 次

提言－伝統の伝承と強靱な組織は人材にあり－.....	2
兵庫中央病院	上野 裕之
薬剤部紹介.....	3
東近江総合医療センター	横山 晋一郎
実務実習生合同成果発表会を終えて.....	5
大阪南医療センター	山口 崇臣
第 12 回近畿国立病院薬剤師会学術集会報告.....	7
敦賀医療センター	藤田 晃介
平成 28 年度近畿国立病院薬剤師会学術集会講演会報告.....	8
刀根山病院	中辻 信江
「平成 28 年度 新採用職員（コ・メディカル部門）研修プログラム」に参加して.....	9
やまと精神医療センター	大住 悠介
国立循環器病研究センター	高野 舞
「第 37 回日本病院薬剤師会近畿学術大会」に参加して.....	11
兵庫中央病院	大倉 久敬
「日本医療マネジメント学会 第 11 回奈良支部学術集会」参加報告.....	12
奈良医療センター	齊藤 祐介
「JASPEN2016」に参加して.....	13
兵庫中央病院	平山 真秀
新採用者紹介.....	14
趣味のページ～小さな島の時間～.....	23
宇多野病院	細田 敦規
編集後記.....	24

提言－伝統の伝承と強靱な組織は人材にあり－

兵庫中央病院 上野 裕之

最近、企業または個人のモラルやコンプライアンスが問われる報道がよく見受けられる。日本の産業を支えてきた自動車業界や家電業界が苦渋を強いられ、日本のモノ作りの伝統が根底から揺らいでいるとも言われている。これらの出来事は、「理念や規則」と「企業の目標や個人の意識（倫理観）」との乖離が原因ではないかと思われる。また、このような時代であるためか大河ドラマの主人公として描かれる武将も黒田官兵衛や真田信繁（幸村）など、判断能力に優れた個性的な名将が人気なのかもしれない。名将と言われる武将は、長けた戦略や戦術により歴史に刻まれている。これらの“略と術”を生み出すには、個人の才能、有能な家臣等の人材、人への教育が秀でていたからだとも言われている。

今は、政治やビジネスにおいても、“戦略”と“戦術”という似つかわしくない言葉を耳にする。元々ビジネス用語でビジョンやミッション等から派生したようである。この二つの言葉は、『戦術の無い戦略はファンタジーであり、戦略の無い戦術はカオスである。』と言われるように非常に密接な関係にある。これらと同様にビジョンとミッション、戦略とゴール、戦術と目標が関連して用いられる。

では、戦略と戦術が出来る優秀な組織とはどんな組織だろうか？

一般に言われるのが次の事項を満たす組織である。

- ・ 明瞭な目標と目的を全ての構成者が共有する
- ・ 全ての構成者が同じベクトルで高いモチベーションを持つ
- ・ 同一の目標に対し対応できる複数の戦術を持つ
- ・ 迅速な情報伝達システムを持ち、状況の変化に可及的に対応する
- ・ 状況を客観的に分析し、戦略や戦術を変える

目標設定では、環境（社会）の変化や目的を共有するために中間管理者等と共に検討すべきと考えている。これらの作業は、多くの時間を費やすが、事象の伝承や人材育成の観点から管理者や中間管理者双方に有益である。

時として、全国薬剤部科長協議会において能力開発プログラムである NHO PAD が作成され、近畿版も近く運用されとのことである。これらプログラムが後進の育成に有効なアイテムとなるかどうかは我々次第である。社会の理念や構造が急激に変化する時代だからこそ基軸となる事項は伝承しなければならない。加えて、時代の変化に対応すべく柔軟な姿勢を養うために世代間の融合と協力が必要となる。これら伝承、融合、協力による人材の育成が強靱な組織作りの礎となり得ると確信している。



薬 剤 部 紹 介

東近江総合医療センター

【病院概要】

＜沿革＞

昭和 16 年 2 月に八日市陸軍飛行連隊病院として創設され、昭和 20 年 12 月に「国立八日市病院」として厚生局に移管、平成 12 年 12 月に国立療養所比良病院と統合し「国立滋賀病院」となりました。その後平成 22 年 1 月に策定された滋賀県地域医療再生計画及び平成 22 年 6 月に策定された東近江市病院等整備計画により、当院は平成 25 年 4 月に東近江市立 2 病院との集約化・再編し、東近江総合医療センターへと生まれ変わりました。

当センターは病床数 320 床(一般病床 304 床・結核 16 床)、25 診療科を備えており、地域の中核病院として病病・病診連携とした地域完結型医療の推進、行政と協力して災害時医療受入体制の取り組み、市民の方々への啓発活動なども積極的に行っています。

＜環境＞

東近江総合医療センターが所在する東近江市は、地理的には滋賀県のほぼ中央に位置しています。当センターは名神高速道路八日市インターチェンジに隣接していますので、名神高速道路を利用することによって、京都市中心部へ約 1 時間、大阪・名古屋の中心部へそれぞれ約 1 時間半の距離にあります。

周辺の環境としては、鈴鹿山脈が近く、車で少し行けば山や川などの豊富な自然があり、キャンプ場なども整備されています。また、少し足をのばせば琵琶湖は言うまでもなく、日本海の海水浴場や滋賀県北部のスキー場なども日帰り圏内です。



【薬剤部紹介】

薬剤部は薬剤部長、副薬剤部長、調剤主任、製剤主任、薬務主任、薬剤師 9 名、薬剤助手 1 名の計 15 名で構成しています。また、部員の 7 割が 20 代であり、非常に明るく活気のある職場となっています。

＜調剤業務・無菌調製業務＞

平成 27 年度の当センターの院外処方せん発行率は約 95%と高い発行率を維持しており、調剤業務は基本的に入院調剤が中心となります。また、無菌調製として抗がん剤・TPN の調製を行っており、昨年度の無菌製剤処理料 1 の実施件数は、月平均 248 件でした。

＜病棟業務＞

当センターは平成 26 年 10 月より 6 病棟すべてに専任薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算の算定を開始、平成 27 年 10 月からは持参薬処方の代行入力を開始しました。代行入力実施前は月平均 80 件程度であった持参薬確認件数が、開始後は月平均 130 件と増加がみられており、医師の業務負担軽減に貢献しています。

＜チーム医療＞

ICT では抗菌薬の適正使用、院内感染対策の徹底に向けて毎週ラウンドとカンファレンスを行っています。NST では今年度中に栄養サポートチーム加算の算定を開始するように取り組んでいます。その他、緩和ケアチーム、褥瘡ケアチーム、外来化学療法カンファレンス、糖尿病教室、母親教室など積極的にチーム医療に参画しています。

＜受託研究業務＞

昨年度の 12 月より本格的に治験業務が始動しています。当センターの治験担当薬剤師は 3 名です。契約課題件数は平成 28 年 4 月末現在で 2 課題を受託し、病棟業務や調剤業務など通常業務と併任しながら治験業務を行っています。

＜最後に＞

今年度は、病院機能評価の審査を受けるための準備が進んでいます。薬剤部としても業務の見直しなどで、変革の年となります。業務の忙しさに負けないよう、若手のパワーも借りながら、一致団結して進めていきたいと考えています。



(文責：横山晋一郎)

実務実習生合同成果発表会を終えて

教育研修委員会薬学教育小委員長
大阪南医療センター 山口 崇臣

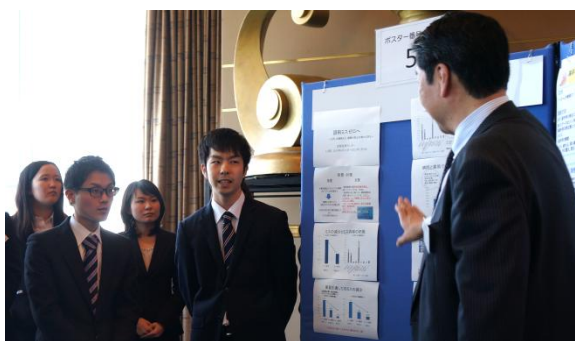
平成 28 年 3 月 5 日（土）9 時より、今回で 3 回目となる実務実習合同成果発表会が開催されました。参加者は学生では 14 の会員施設から見学者を含めて約 120 名、大学教員が 12 大学より約 30 名、近畿国立病院薬剤師会・会員が約 120 名と大変多くの方々にご参加いただき開催されました。

今回のプログラムでは、これまでと同じくワークショップを盛り込み、そして新たな試みとしてポスター発表を開催することとさせていただきました。



ワークショップでは「薬剤委員会」「医薬品安全管理委員会」「臨床カンファレンス」「IRB（治験審査委員会）」の4つのテーマに対して8グループで実施いたしました。参加学生の方々は課題毎に事前に与えられていた宿題にも対応していただき、また今回のファシリテーターには当会の各委員会において、新進気鋭で中心的に活動されている先生方に引き受けていただいたこともあり、各グループで非常に活発なディスカッションとなりました。

そして、それに引き続いたポスター発表では35課題の演題が登録され、発表者と質問者の距離が近いこともあり熱気のある質疑応答が繰り広げられ、大変盛況な会となりました。



今回、当会において 4 委員会への再編等による新たな体制にて臨んだことから、多くの試行錯誤の中で準備が行われました。当初の予想よりも多くの学生に参加いただいたこと、そして新しい会場での開催であったこと等もあり、会場のレイアウトやグループ分け等でも多くの苦心をした結果、大変貴重な経験が積むことができました。

また、準備段階より教育研修委員会の委員の先生方や事務局の先生方のみならず、多くの会員の先生方にも多大なご助力をいただきました。開催当日も早朝より実習指導薬剤師の方々や各施設の先生方にもご協力をいただき、そしてなにより多くの方々にご参加いた

できました。これらにつきましては皆様に感謝申し上げます。

今年度の会はなんとか終了いたしました。今後にも多くの課題も残っております。しかし、既に来年度の開催を目指して新たに準備を始めたところであります。当日ご記載いただいたアンケートのご回答内容等も踏まえ、数多くの会員の先生方にご協力、ご助言等をいただき、より価値のある、そして参加いただいた方全員がワクワクと心躍るような、活発で有意義であり、そして未来に向かって豊潤な会を目指していきたいと考えております。

引き続き、あたたかいご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



第 12 回近畿国立病院薬剤師会学術集会 報告

敦賀医療センター 藤田 晃介

平成 28 年 3 月 5 日ハイアットリージェンシー大阪にて、学術集会並びに講演会が開催された。その施設特有の症例や取り組みに関する発表や、日頃触れない分野に関する発表もあり、非常に良い刺激になった。発表演題の中から最優秀賞 1 題、優秀賞 2 題が選ばれた。

1. 当院における薬剤師外来への取り組み

神戸医療センター 中本 有香

○2. レジパスビル/ソホスブビル導入におけるアドヒアランス確保に向けた薬剤師の取り組み

大阪南医療センター 木本 大樹

3. 病棟薬剤業務実施加算の有用性～抗 MRSA 薬の適正使用を目指した取り組み～

近畿中央胸部疾患センター 新田 亮

4. 奈良医療センターにおける抗結核薬中止後再開の現状

奈良医療センター 斎藤 祐介

◎5. 地域医療を見据えた上での退院時指導の取り組み

南和歌山医療センター 岩渕 恵理

○6. ヒヤリ・ハット対策チームの立ち上げとヒヤリ・ハット報告件数に及ぼす影響について

京都医療センター 植田 裕美

7. 改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムへの対応を目指した病院間グループ実習の試み

宇多野病院 吉川 実希

8. ニンテダニブエタンスルホン酸塩錠の使用状況と副作用調査

姫路医療センター 田中 あゆみ

9. ドルテグラビルとリルピビル併用時の腎機能調査への影響

大阪医療センター 中内 崇夫

10. 【近畿国立病院薬剤師会 研究支援制度採択問題】

多施設共同データベース研究の疫学研究体制について～HIS 蓄積データ二次利用～

姫路医療センター 山口 崇臣

平成 28 年度 近畿国立病院薬剤師会学術集会 講演会報告

刀根山病院 中辻 信江

特別講演Ⅰ

演題：2 型糖尿病の基本的なこと

講師：大阪南医療センター内分泌代謝内科 平尾 利恵子先生

糖尿病の基礎知識、治療、糖尿病の合併症、薬剤師に期待することについてご講演いただいた。

糖尿病の治療については薬物療法だけでなく、食事療法、運動療法についても分かりやすいご講演で興味深く聴講させていただいた。

病院薬剤師に期待されていることとしては、糖尿病チームとしての薬剤師の役割、血糖降下薬の勉強会を実施し正しい知識を周知していくこと等である。

特別講演Ⅱ

演題：診療報酬改定に見る病院薬剤師の役割

講師：田辺三菱製薬株式会社大阪支店 南雲 成一郎先生

今回は診療報酬改定に見る薬剤師の役割について、前半は若い世代の参加者も多いという事もあり診療報酬改定の基礎的な事から、後半は病棟薬剤業務実施加算取得の普及等に向けて薬剤師の方向性についてデータ、アンケートを交えDPC に関することも含めご教示いただいた。

診療報酬改定は内閣による予算編成過程を通じ、社会保障審議会医療保険部会・医療部会により策定された「基本方針」に基づき、中央社会保険医療協議会によって審議され実施される。これは年度毎の傾向を引き継ぐ事が多く、今回も前回の診療と介護の連携という流れを引き継いでいる傾向にある。

2016年度診療報酬改定では、「病床の機能分化・連携やかかりつけ医機能等の充実を図りつつ、イノベーション、アウトカム等を重視」を基本的視点とし、今後も2025年に向けて医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実に取り組んでいく必要があるとされ、団塊の世代が75 歳を迎えるまでに、介護が不足している状況から地域に密着した医療体制を整えていく事が目標に掲げられている。

また、今回の改定によって病院薬剤師関係については、病棟薬剤業務実施加算 2、薬剤総合評価調整加算等が新設され、特殊病棟での薬剤業務やポリファーマシー対策も見据えた業務展開が期待されている。

「平成 28 年度新採用職員（コ・メディカル部門）研修プログラム」に参加して
やまと精神医療センター 大住 悠介

4 月 13 日から 15 日までの 3 日間、大阪医療センターで開催された、新採用者対象の新人研修会に参加させて頂きました。この短期間で国立病院機構職員としての心構えや薬剤師としての考え方、薬剤師と他の医療人との関わりなど多くのことを学ばせていただきました。

初日は新薬剤部門採用者を対象とした講義があり、薬剤師の将来について、新人薬剤師として身につけておくべきスキルなどの講義や先輩に対する挨拶や基本的な礼儀を教えて頂きました。グループワークでは“病識が薄く治療に対して積極的でない糖尿病患者さん”の初回インタビューを聞いて班ごとに話し合い薬学的問題点を抽出した後、SOAP を記録し、発表しました。各班の意見は生活習慣の改善、服薬コンプライアンスの向上、患者さんが注射を嫌がっているので経口薬に変更してもらおう等、様々な意見が飛び出しました。現状の私たちではSOAP を書くだけで 1 時間近くかかってしまうことに少し不甲斐ない気持ちでしたが、今回の研修によって服薬指導記録をどのようにして書くのかを学ぶことができました。また、先生方の講義のなかで印象に残っている言葉があります。“「私が服薬指導をしても、皆さんがしても患者さんから見れば、同じ薬剤師で、点数も同じだけとれる」”この言葉で、はっとさせられました。新人だから、半人前だからと甘えていてはいけない、なんとなく薬剤師をやっているはいけないことに気付かされました。

次の日は総勢 100 名以上の新人のコメディカルが 10 班に分かれて討論をしました。制限時間 50 分で出た意見をまとめて、スライドにして発表するという強硬スケジュールの中で私の班では「チーム医療の推進」をテーマに様々な職種の方々と意見を出し合いました。こんな短時間で意見をまとめ、良い発表ができるものだろうかと考えていましたが、発表がドラマ仕立ての班や凝ったスライド作りをしている班などがあり、これからのスライド作りの参考になりました。

最終日には、挨拶や礼の仕方、服装や電話応対、名刺の渡し方、上座下座の位置などの今まできちんと知らなかったビジネスマナーについて丁寧に教えて頂きました。

この 3 日間を通して、新人薬剤師としての在り方や社会人としてのマナーを学び、薬剤師だけではなく他のコメディカルの方たちと交流することで他部門の知識を吸収することができました。薬学以外の医療知識を学ぶ機会はありませんでしたのでこういった機会を頂けたことに感謝しています。まだまだ、出発したばかりの新人ですが、この研修会で学んだことをいち早く現場で活かし薬剤師として成長していきたいです。最後に、この 3 日間、講義や演習をしてくださった先生方、グループワーク等を補助していただいた先生方に心よりお礼を申し上げます。

「平成 28 年度新採用職員（コ・メディカル部門）研修プログラム」に参加して

国立循環器病研究センター 高野 舞

平成 28 年 4 月 13 日から 15 日にかけて行われた「平成 28 年度新採用職員（コ・メディカル部門）研修プログラム」に参加いたしました。

今回の研修は社会人としての基本スキルを身につけるとともに国立病院機構職員としての意識付けを図ることや職員間の交流を広げることなどを目的に行われました。

1 日目の部門別研修では薬剤師の責務やチーム医療の実践、病棟業務についてなどの講義がありました。

講義をしていただいた先生方が「スペシャリストを目指す前にまずジェネラリスト」ということを何度も言われていました。

講義を受けているときはなるほどなあと思っていたのですが、研修を終えた後改めて業務を行ってみると、まずはもっと土台をしっかりさせなければいけないと感じました。

普段の業務中は処方箋の中身で頭が一杯ですが、実際に電子カルテを見たり問い合わせをしてみると考えがあつてこういう処方になっているんだ、ということが多くあります。しかしそれがぱっと分かることは滅多になく、薬だけではなく臨床の知識も大事だということがやっと分かってきました。

そこでまずは今年 1 年、薬に限らず社会人としての基本や臨床の知識など幅広く勉強し、将来ジェネラリストやスペシャリストを目指せるような土台をつくりたいと改めて思いました。

2 日目以降のグループ討議は薬剤師 3 人と他職種の方を合わせて 11 人の班でした。業務内容紹介ではお互い普段交流のない職種同士、色々な質問が出ました。薬剤部の業務紹介では「疑義照会って怒られる？」という普段私たちも気にしている内容や、「一包化って中身全部数えてるの？」という普段考えたこともない質問などを頂きました。職種の違いだけでも分からないことがたくさんあり、実際に聞くことができたのはとても面白かったです。

また栄養士の方から「国循では食堂にかるしおレシピのお弁当があるって聞いたけどおいしい??」という質問を受けました。栄養士ならではの視点で私たちとは全く違うなあと感じました。（私はまだ食べたことがないので機会があつたらぜひ食べて報告したいと思っています）

このような職種を越えた広い交流を持てる研修会に参加できたことは、とても有意義な経験となりました。

同じ班の人たちとは業務に慣れてきたらまた集まって交流会ができたらいいね、と話をしていますが、是非とも実現させて長く続く繋がりにできたらと思っています。

「第 37 回日本病院薬剤師会近畿学術大会」に参加して

兵庫中央病院 大倉 久敬

平成 28 年 1 月 23 日（土）から 24 日（日）に、兵庫県の神戸国際展示場にて開催されました第 37 回日本病院薬剤師会近畿学術大会に参加させていただきました。

日本病院薬剤師会近畿学術大会には、薬剤師となって初めての参加となりましたので、報告致します。

今回の学術大会のテーマは「広がり、高まるニーズに応える薬剤師 天気晴朗なれど波高し」でした。

海堂尊氏の特別講演を拝聴し、特に印象に残っている言葉があります。それは、「1 つでも事故が起こると大きくフューチャーされ、世間一般からの批判がある。当然すべきことをするのは当たり前で、世間から興味を持ってもらえない。そのため、フューチャーされない。何をしているのかをアピールをすべきであり、その仕方で印象が大きく変わってくる。」です。

薬剤師のニーズが今回の学術大会のテーマのように多岐にわたるようになりました。市民の皆様はもちろん、院内でも薬剤部がやっていることを他部署で分かってもらえるよう、アピールしていく必要があります。そのために、日々自己研鑽して他のスタッフ、患者さんのニーズに応えていくべき知識を蓄えていかなければならないと改めて思いました。

他施設の発表やシンポジウム、特別講演を聴講し、最新の情報や取り組みなどを学びました。ポリファーマシーの、臨床推論の考え方など特に印象に残りました。また、普段当院では学ぶことのできない小児・産婦人科、急性期医療などの分野などの発表もあり、とても勉強になりました。

同期や大学の友人と話す機会、発表を聴講する機会がありました。自分はもっと勉強していかなければならない。そう、再認識いたしました。今後とも情報共有して切磋琢磨しながら自己の成長につなげていきたいです。

これからの薬剤師のニーズに応えるべく、感謝と謙虚さを忘れずに日々自己研鑽に励み、日々の業務に活かしていきたいです。



「日本医療マネジメント学会 第11回奈良支部学術集会」参加報告

奈良医療センター 齊藤 祐介

2016年1月30日に奈良県社会福祉総合センターにて開催されました、日本医療マネジメント学会第11回奈良支部学術集会に演者として参加いたしましたので、報告させていただきます。

今年のメインテーマは「地域で支える医療」でした。地域包括ケアに着眼点をおいた、昨年に引き続いてのテーマだそうです。開催された教育講演もネットワークシステムを中心としたものであり、人口が減少・高齢化の一途をたどっている奈良県の医療において、地域連携がいかに重要であるのかを改めて感じることができました。

私は「奈良医療センターにおける調剤過誤対策と医薬品安全使用についての取り組み」というタイトルで、口頭発表をさせていただきました。「医療機関で発生するヒヤリ・ハット事例において最も大きな割合を占めるのは医薬品に関するものである」という前提を踏まえ、その減少のために当センターの薬剤部がどういった取り組みをしているか、という発表でした。内容は至って基礎的なものですが、当学術集会は薬剤師だけでなく医師、看護師、その他コメディカルの方々も参加しておられましたので、他職種の方々に薬剤部内での薬剤師の取り組みを知っていただくいい機会になったのではないかと思います。同時に、自分にとっても他職種が様々なリスクを減少させるためにどのような取り組みをされているのか知る事ができ、大変勉強になりました。

この度は初めての学会発表、しかも口頭発表であり、非常に緊張した1日を過ごしましたが、この経験を今後活かせるよう努めていかなければならないと思いました。

最後になりましたが、公の場で発表する機会を下さった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「JSPEN2016」に参加して

兵庫中央病院 平山 真秀



通称『JSPEN』、正式には日本静脈経腸栄養学会 Japanese Society for Parenteral and Enteral Nutrition。今回参加した学術集会は、2016年2月25日、26日、開催地は福岡です。24日夜中に新幹線で博多駅に到着し、雨かと思えば、みるみるうちに曇（みぞれ）へと変わり、学会1日目の早朝はホテルから見えた道に雪がうっすらと。私自身、JSPENの学術集会にはNST専門療法士を取得する前から、勤務施設薬剤部の先生方のご配慮、ご協力のう え、参加、発表の機会をいただき、第31回の今回を含めると9回目の参加となります。

今回の学術集会のメインテーマとして、『臨床栄養におけるリスクマネジメントー臨床栄養の質の向上による各種疾病のリスクマネジメントを目指してー』が掲げられ、全国の医療機関、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師のみならず、臨床検査技師、歯科衛生士など、様々な職種の医療従事者が日頃の研究、業務の成果を発表されていました。私が聴講した、企業パネルディスカッション『臨床栄養関連企業のリスク管理と今後の展望』では、各企業がいろんな視点で企業努力を重ねられていることを知る機会となりました。当院のNST（Nutrition Support Team）からは、言語聴覚士が「当院における神経筋疾患患者の食事形態の調整と栄養状態の調査について」を発表しました。近畿グループ管内の各施設からも多くの発表演題がありました。薬剤師も2施設、2演題発表されていたので、興味深く日頃の成果を拝見させていただきました。以前の勤務施設でNSTとして苦楽（？）を共にした管理栄養士も、当院の管理栄養士と共同研究発表をされており、他職種の研究に対する姿勢に、我を振り返りつつ・・・。

今回の学会会場では、写真のような会場同時中継エリアが設けてあり、スライド内容を見ることができました。音声は用意されていたレシーバーのチャンネルを選択することで、ひとつの場所にいながら、移動することなく、効率的に（？）発表を聴講し、様々な知見を得ることができました。



勤務施設が変わると、その先々でその施設状況に応じた NST に携わることになります。薬剤師に求められる情報や対応も施設によって異なります。毎回、JSPENに参加すると、学会会場で NST を通してお知り合いになった若手薬剤師の方々にもお会いします。また、研究のネタが日々の業務に無数に転がっていることも気付かされます。学会に参加し、若手の先生方からも刺激を受けつつ、今後も栄養療法について各施設の情報を共有し、知識を深める機会を活用し、ともに切磋琢磨していければいいな、と思います。

新採用者紹介

～①氏名 ②施設 ③座右の銘、好きな言葉 ④抱負～

①保井 健太(ヤスイ ケンタ)

②刀根山病院

③「明日やろうは馬鹿野郎」

④病院実習のときに大阪医療センターでお世話になり、学ぶことの楽しさを知り、国立病院機近畿グループに就職しようと思いました。この気持ちをずっと持ち続け、患者さんに自分しかできない治療ができるように日々、元気に明るく全力で仕事をし、そして成長し続けたいと思っています。迷惑ばかりかけると思いますが、ご指導・ご鞭撻お願いします。

①土江 亜季(ツチエ アキ)

②南京都病院

③「一球入魂」

④実習でお世話になったのをきっかけに、薬剤師としていろんなことにチャレンジしてみたいと思い入職しました。たくさんのご迷惑をおかけするかと思いますが、素敵な先輩方を目標に一所懸命がんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

①小野 泰明(オノ ヤスアキ)

②和歌山病院

③「継続は力なり」

④4月から和歌山病院でお世話になっている小野泰明です。

仕事を初めて一月ほどでまだまだ覚えることも多く、周りの先生方にお世話になってばかりですが、何事にも積極的に取り組んで成長していければと思っています。今後は、医療現場の方々からも患者さんからも安心して仕事を任せていただけるような、信頼される薬剤師になれるように 日々自己研鑽に励んでいきたいです。

①横川 玲奈(ヨコガワ レイナ)

②大阪南医療センター

③「日進月歩」

④4月から大阪南医療センターに入職いたしました横川玲奈と申します。仕事ではまだまだ慣れないこともあり、学ばせていただくことが多い毎日を送っております。患者様だけでなく、他の医療従事者の皆さんに信頼されるような薬剤師を目指して、日々精進していきたいと思います。

①松田 璃沙(マツダ リサ)

②大阪南医療センター

③「成長には痛みを伴う」

④入職して1か月が過ぎ調剤室にも少しずつ慣れてきましたが、まだまだ失敗することが多い毎日です。毎日の失敗・疑問をしっかりと見直し、早くスーパージェネラリストになれるよう頑張りたいと思います。

①壇 梨恵(ダン リエ)

②宇多野病院

③「失敗しない、雨も降らない人生なんてない」

④4月から宇多野病院でお世話になっている壇梨恵です。働き初めてまだ日は浅いですが、先輩方に支えられて日々励んでいます。多方面に求められる一人前の薬剤師になれる様さらに、頑張っていきたいです。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

①江原 美里(エハラ ミリ)

②大阪医療センター

③「日進月歩」

④4月1日より大阪医療センターに配属されました。趣味は旅行で、特に星空を見に行ったり寺社仏閣を巡ることが好きなので、社会人になりましても全国各地に出かけたりして、うまくリフレッシュしながら仕事に励みたいと思っております。仕事はまだまだ学ばなければならないことが多く、他の先生方には大変ご迷惑をおかけしておりますが、1日でも早く仕事を覚えて薬剤部の戦力となれるよう日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①大矢 博己(オオヤ ヒロキ)

②大阪医療センター

③「一歩ずつ日々精進」

④四月から大阪医療センターで勤務することになりました、新人薬剤師の大矢 博己です。まだまだ仕事がうまくいかないことが多く、周りの先生方にご迷惑をおかけすることが多いですが、一つずつ出来る事を増やしていきたいです。

薬学的知識を身に着け、一日でも早く患者さんの治療に貢献できるようになりたいです。



①矢淵 慈子(ヤブチ イツコ)

②大阪医療センター

③「地の塩、世の光」

④4月1日から大阪医療センターに配属されました。

大学時代は学生オーケストラに所属し、オーボエを演奏しておりました。趣味は旅行と飼い猫に遊んでもらうことです。社会人になっても仕事と趣味を両立させたいと思います。仕事では他の先生方に毎日ご迷惑をおかけしておりますが、早く仕事を覚えて貢献できるようにがんばりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①吉村 芙美 (ヨシムラ フミ)

②大阪医療センター

③「自分で限界の線を決めないこと」

④本年度より大阪医療センターに配属されました。大学ではスノーボードサークルに入っており、趣味は映画鑑賞、音楽を聴きながら歌うことで、特技は水泳です。また、ディズニーが大好きで毎年足を運んでいます。

仕事では皆様にご迷惑をおかけしておりますが、積極的に仕事に取り組みいち早く業務内容を覚え貢献できるように頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

①野田 拓誠(のだ たくみ)

②京都医療センター

③「成功の反対は失敗ではなくやらないこと」

④日々努力をし、少しでも早く様々な人から信頼され、頼られる薬剤師になりたいと思います。よろしくお願いします。

①市原 英則(イチハラ ヒデノリ)

②京都医療センター

③「誠心誠意」

④患者さんに対する思いやりを忘れず、医療関係者の一員として日々仕事に励んでいきたいです。どうかご指導の程よろしくお願いします。

①井上 麻美(イノウエ アサミ)

②京都医療センター

③「早寝早起き」

④まだまだ未熟ですが、たくさんの知識を身につけられるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

①沖 遼子(オキ リョウコ)

②京都医療センター

③「何時も楽しく」

④まだまだ勉強することばかりですが精一杯がんばります。

よろしくお願いいたします。

①笹谷 美砂音(ササタニ ミサネ)

②敦賀医療センター

③「量は質に転化する」

④こんにちは。敦賀医療センターの笹谷美砂音です。

4月から働き始めて、学ぶこと・覚えることがたくさんの毎日のですか、患者さんの治療に貢献できるようになるよう日々精進したいと思います。これからよろしくお願いいたします。

①大住 悠介(オオスミ ユウスケ)

②やまと精神医療センター

③「継続は力なり」

④四国の徳島出身の大住です。業務が始まって一ヶ月が過ぎようとしていますが日々、大先輩方にご迷惑をおかけしっぱなしで、申し訳ない所存でいっぱいです。薬剤師として、患者さんやスタッフの方たちに頼られ、寄り添えるような仕事ができるよう一所懸命に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

①川角 彩香(カワスミ アヤカ)

②南和歌山医療センター

③「継続は力なり」

④入職して日が浅くまだまだ分からないことばかりですが、一つ一つ経験を積み重ね、チーム医療の中で力を発揮し、患者さんに貢献できる薬剤師になれるよう精進していきたいと思います。

先生方にはお世話になることが多く出てくるかと思いますが、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。

①瀬戸 彩夏(セト アヤカ)

②南和歌山医療センター

③「不動の信念」

④病院で働く上で医師、看護師、またコメディカルの意見や情報は貴重で重要だと思います。自分の仕事だけに一生懸命にならず、しっかりコミュニケーションをはかり、他職種の見解を取り入れられるような薬剤師になれるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

①春木 恵（ハルキ メグミ）

②南和歌山医療センター

③「日進月歩」

④薬剤師となってまだ日が浅く、学ぶことの多い毎日です。わからないことが沢山ありますが、今の自分にできることを一つずつ増やしながら成長していきたいと思います。少しでも早く薬剤部の一員として貢献できるよう、日々精進していきたいです。

①宇野 貴哉（ウノ タカヤ）

②国立循環器病研究センター

③「一生懸命」

④近畿大学薬学部を卒業し、4月から近畿大学の連携大学院方式外部講座のもと、国立循環器病研究センターの非常勤薬剤師として勤務することになりました。薬学部で習得した知識は業務上必須であり、今後は理解の深め方が重要な課題であると日々実感しています。また、実務実習と比較し、業務がより深く多岐にわたることを目の当たりにし、不安を感じています。しかし、先生指導の下、少しずつ成長している自分に気づき、非常にやりがいを感じています。私の目標は、薬学の知識をもとにチーム医療へ貢献し、患者様へより良い医療を提供することです。至らぬ点多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

①吉田 優紀（ヨシダ ユキ）

②国立循環器病研究センター

③「歩いた後に花一輪」

④4月からレジデントとして勤務する事となりました。レジデントの2年間で薬の基本的なことから稀な疾患についてまで、多くのことを学びたいです。まずは先生方や患者様のお役に立てるよう日々の業務を習得しようと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

①高吉 真弥（タカヨシ マヤ）

②国立循環器病研究センター

③「Cool head, warm heart」

④4月から国立循環器病研究センターで勤務することとなりました高吉真弥です。出身は鹿児島、大学は福岡ですが、循環器疾患の薬物治療を学びたいと考え、生まれて初めて九州の外に出ました。分からないことだらけでご迷惑をおかけする場面が多々あると思いますが、先生方から様々なことを吸収して立派な薬剤師になれるよう精進しますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

①高野 舞(タカノ マイ)

②国立循環器病研究センター

③「悠々自適」

④4月より国立循環器病研究センターに配属になりました高野 舞です。

まだ分からないことや出来ないことだらけですが、先生方に教えていただきながら一つずつ出来るように頑張っていきたいです。

学生時代は弓道部に所属していたため業務に慣れてきたらまた再開したいと思っています。至らない点も多いかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

①中村 浩貴(ナカムラ ヒロキ)

②国立循環器病研究センター

③「経験することが楽しい！」

④4月より国立循環器病センターにて勤務している中村浩貴です。今はまだ期待と不安が入り混じっていますが、一人前の薬剤師になるべく日々努力していきます。そして、循環器病をメインにあらゆる薬物治療について知識を増やし、個々の患者さんに合った治療に貢献できる薬剤師としてスキルアップしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

①下川路 亮太(シモカワジ リョウタ)

②近畿中央胸部疾患センター

③「人生には「楽な道」と「辛い道」がある。でも喜びは「辛い道」にしかない」

④先輩方のご指導もあり、少しずつではありますが、成長を感じる毎日を過ごしています。これからも学ぶことはたくさんあり、苦勞すること多いと思いますが、何事も前向きに考え日々の仕事に取り組んでいきたいと考えております。病棟に上がった時には患者様をはじめ医師、看護師、コメディカルの方々と積極的にコミュニケーションを取り、少しでも早く頼りにされる薬剤師を目指して頑張りたいと思います。また、国立病院機構という大きくくりでの繋がりも大切にしていき、より多くのことを学び、吸収して自分のこれからの成長に活かしていきたいと思います。

①窪田 彩花(クボタ アヤカ)

②舞鶴医療センター

③「誰でも、どんなことでも成し遂げることができる。」

④このたび入職致しました窪田彩花です。配属は舞鶴医療センターです。社会人として、薬剤師としての第一歩をこの国立病院機構で迎えられることを本当に嬉しく思っています。ご迷惑をかけることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①藤井 克至(フジイ カツミ)

②舞鶴医療センター

③「克己心」

④今年の四月から舞鶴医療センターでお世話になっております藤井克至と申します。

趣味はサッカー、フットサルで学生時代もサークルに入り汗を流していました。

今はまだとにかく仕事に慣れ、覚えることで精一杯ですが、一つ一つの仕事に全力で向き合い、周りから信頼される一人前の薬剤師に成長できる様に日々精進していきたいと思えます。

今後どうぞよろしくお願いいたします。

①北野 祐香(キタノ ユウカ)

②舞鶴医療センター

③「和を以て貴しとなす」

④まだまだ先輩方にご迷惑をおかけすることばかりですが、同期3人とともに仲良く元気に切磋琢磨しながら成長をしていきたいと思っております。そして、他の職種の皆様とも協力しながら得た知識を患者さんに還元出来る薬剤師になっていきたいです。

①山階 規子(ヤマシナ キコ)

②宇多野病院

③「若人のすなる遊びはさはにあれどベースボールに如くものはあらし」

④薬剤師になった今の気持ちを忘れず成長していきたいです。まだまだできないことが多くご迷惑をかけておりますが、薬剤部の一員として貢献できるよう日々精進していきます。よろしくお願いします。

①今北 和良(イマキタ カズヨシ)

②兵庫中央病院

③「人間万事塞翁が馬」

④兵庫中央病院に入職して1か月が経ちましたが、まだまだ分からない事が多く、先輩方には大変ご迷惑をお掛けしております。自分の出来ることを一つでも多く増やして、先輩方、医療スタッフ、患者さんの役に立てよう頑張ります。

①石裏 悠希(イシウラ ユキ)

②兵庫中央病院

③「千里の道も一歩から」

④四月から兵庫中央病院に配属されました石裏悠希です。趣味は読書でなんでも読みます。お勧めがあれば是非教えて下さい！今は手際よく正確に業務をこなそうと四苦八苦しておりますが、少しでも早く一人前になれるようこつこつ頑張ります。

①田中 美早(タナカ ミサキ)

②姫路医療センター

③「一期一会」

④初めまして。4月から姫路医療センターにて勤務しております田中美早と申します。

出身は山口、大学は京都、そして初めての勤務地は姫路と様々な場所を転々としており、その度に様々な方々と出会い支えられています。このような一期一会を大切に、他職種と協力し合い、よりよい医療を患者様に提供できますよう日々精進します。

大学ではバレーボールとアカペラを少々しておりました。運動と音楽を、するのも観るのも大好きです！よろしくお願いします！！

①西村 真美(ニシムラ マミ)

②姫路医療センター

③「今を生きる」

④様々な医療従事者と共に、チームの一員として患者さんに寄り添った医療を提供できる薬剤師になりたいと考えています。少しでも早く業務を覚え、戦力になれるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

①岡田 清花(オカダ サヤカ)

②姫路医療センター

③「艱難汝を玉にす」

④4月から姫路医療センターに入職させていただきました岡田清花と申します。1日でも早く仕事を覚え、ジェネラリストになれるように日々精進していきたいと思っております。よろしくおねがいいたします。

①佃 隆元(ツクダ リュウゲン)

②あわら病院

③「有備」

④4月からあわら病院で勤務しています佃隆元と申します。あわら病院は現在薬剤師が3名ということで、様々な業務を経験させていただける環境に感謝しております。薬のプロフェッショナルとなったことに自覚を持ち、患者様、多職種の方々との信頼関係を築くことによって、患者様を中心に据えたチーム医療の一員となれるよう自己研鑽に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

①亀崎 ちひろ(カメサキ チヒロ)

②神戸医療センター

③「何事も経験」

④毎日新しいことばかりで覚えるのが精一杯ですが、その中でも勉強する姿勢を忘れずに業務に取り組みたいと思っています。薬剤部の皆さんにはいつも助けていただいているので、早く薬剤師として1人前になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

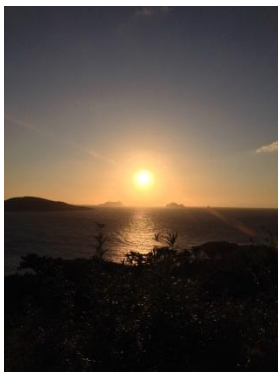
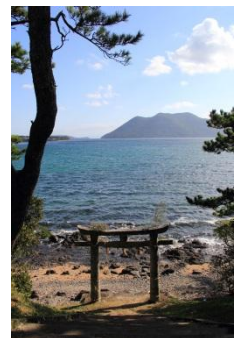


今回趣味のページを担当させて頂くことになりました宇多野病院の細田敦規です。私の趣味である旅行について書きたいと思います。私は休みを見つけては度々どこかにでかけて気分をリフレッシュさせています。最近は遠くに足を伸ばしてみたいなと思い、離島に行くことが多くなっています。今回は以前行った小値賀島を紹介しようと思います。この島は長崎県の五島列島北端に位置する



人口 2700 人ほどの小さな島です。すごくゆったりとした時間が流れており過ごしやすい島です。島の方々も歩いているだけで”どこからきたの？”、“楽しんでいてね”と声をかけてくれるような気さくな方ばかりでした。昼食に立ち寄った定食屋では島の診療所で働く研修医さん、栄養士さんとお話することができました。因みに小値賀島には常勤の薬剤師はおらず週に 2、3 日長崎本土から出勤しているとのことでした。

自転車を借りてのんびり島を走っていると観光スポットの一つである赤い海岸が目に入ります。もともとこの島は海底火山の噴火で生まれたらしく、火山岩の石や砂が集まってこの海岸ができたのだそうです。その他にも海に臨む鳥居や広大な平原など、神秘的な風景が目の前に広がり大変清々しい気分になりました。どの景色も綺麗なのでカメラを首から下げていると、ついついペダルをこぐのを止めてシャッターを切ってしまう。



島を一周するころには夕日が顔を出し始めます。この夕日が特に綺麗で、日の光が海を照らして黄金の道のようになっています。宿泊した民宿のご主人はこれをゴールデンロードと名付けて観光客に広めているそうです。このゴールデンロードを島の静かな時間の中で見るだけであっただけでも足を運んだ甲斐があったなと思いました。今後は国内だけでなく海外にも足を伸ばしてみたいなと思っています。

次回の趣味のページは奈良医療センターの中澤誉先生にお願いしています。私も楽しみにしています。

編集後記

このたび、発生した熊本県内の地震について、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興とこれ以上の被害が拡がりませんよう心よりお祈り申し上げます。

- ♪新年度が始まり 2 カ月がたちましたが、皆様体調は崩されていませんか。転勤や新採用の先生は職場には馴染まれましたでしょうか。春も終わり、梅雨となりますので体調にはくれぐれもお気を付け下さい。
- ♪東京オリンピックのエンブレムがアンケートにより決定いたしました。市松模様は風情があっていいなと思いました。幾何学的にもすごいみたいですが、私の理解は及びませんでした。皆さんもぜひ一度調べてみてください。
- ♪4月13日アメリカのバスケットボールNBA（National Basketball Association）のロサンゼルス・レイカーズに所属するコービー・ブライアントが引退しました。NBAの一時代を築いた選手でしたが、世代交代となりました。この選手の名前は神戸ビーフからきているのはご存知でしたか？
- ♪今月号の内容と致しましては新部（科）長の提言、薬剤部紹介、学術集会報告、特別講演会報告、合同実務実習報告、学会報告、新採用の先生方の研修報告や紹介、趣味のページがあり、内容が盛りだくさんとなっております。ぜひご熟読ください。

(K.T)

近畿国立病院薬剤師会ホームページ <http://www.kinki-snhp.jp/>

近畿国立病院薬剤師会会誌

第四十六号 平成 28 年 5 月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

大阪市中央区法円坂 2-1-14

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤部内)

発行人 会長 本田 芳久（大阪南医療）

編集 広報担当理事 本田 富得（東近江総合医療）

広報委員 高原 由香（大阪医療） 竹松 茂樹（京都医療）

中西 彩子（奈良医療） 岩槻 瑠美（南和歌山医療）

竹原 健次（兵庫中央） 村津 圭治（大阪南医療）